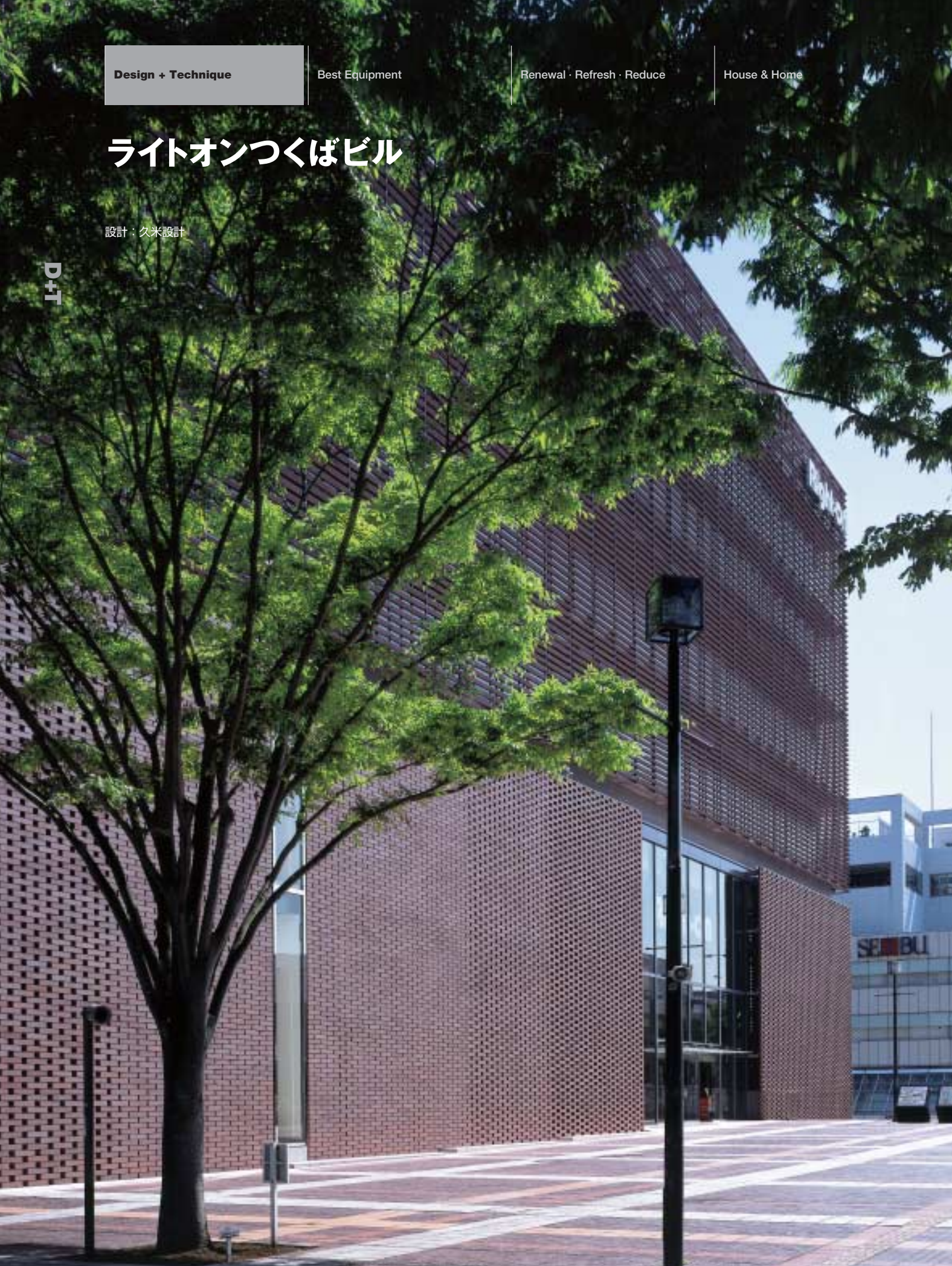


ライトオンつくばビル

設計：久米設計

D+T



北面外観 低層店舗部外壁はレンガ積み。上層本社部外壁はテラコッタルーバー



上—本社商談室吹抜け
左下—外壁詳細
右下—店舗階段部吹抜け。スチールカーテンウォールが支持する透かし積みレンガ





左—建物正面夜景
右—同昼景

Design + Technique

ライトオンつくばビル

安東直
SUNAO ANDO

ライトオンは400超の店舗数を全国展開するカジュアル衣料の小売店である。メインアイテムをジーンズとする店舗デザインは、統一されたデザインコードで展開され、デザイン性に優れたハウジングの訴求力により、多くの顧客を集客してきた。つくばは、その全国展開の起点となった土地であり、ここに本社も置いて事業展開してきたが、企業規模の拡大とつくばエクスプレスの開業という契機に合わせ、新しく出来たつくば駅前に旗艦店と本社ビルを一棟建てで新築することになった。

外観は企業イメージの確立と他店舗との均質性が求められ、レンガ素材をベースにしたデザイン展開が課題となった。階層構成は低層部が店舗、上層部が本社オフィスと明快に分かれたが、オフィス部も採光を確保した上、全面レンガで覆われた姿となることがクライアントから望まれた。さまざまな素材を検討した上で採用した素材は、店舗部は大型レンガ積みによる壁面主体の外装とし、上層部はガラスカーテンウォールを大型テラコッタルーバーで覆う、インテリアの求める機能に即した構成とした。

店舗部分のレンガは酸化焼成による幅424mm、高さ90mm、奥行き104mmの孔あき大型レンガである。レンガは2次的な外装とし、止水ラインを内側のスチールカーテンウォールと押出成型セメント板で確保しデザインの自由度を高めた。積み方は店舗の採光要求部分に合わ

せて積層の密度を変え、壁として密実に積み上げた部分と、透かし積みとして採光をとった部分に分かれている。透かし積みの密度は、隙間を110mmと216mmとした2段階に分け、閉じた部分と開いた部分の境界の強度を弱めた。

レンガの積層方法は、レンガに穿孔したφ45mmの穴にEPDMゴムのスペーサーを介しφ42.7mmのパイプを芯材として通し、最大15mの高さに及ぶレンガ積みを連結した。風圧への対応と層間変位追従のため、芯材は高さ3mピッチで控えを取り、水平力は建物本体へ伝え、面内変位はレンガ間のゴム硬度を検討し、パイプの変形に追随する構造とした。これは実大試験により、1/100変位時も甚大な破壊、脱落が起きないことを確認している。

オフィス部分のテラコッタルーバーは、平行四辺形の断面形状とし、サイズは長辺方向で150mm、厚さで60mmあり、水平ルーバーとしてはやや大型の断面を持っている。長さはインテリアモジュールより1,600mmとし、中心にZAM鋼板を加工したアングルを通し支持材とした。更に破損脱落防止のため、飛散防止用の不織布を内側に貼り込み補強している。取り付け方法は各階から持ち出したスラブ先端、またはカーテンウォールから持ち出した水平材に、FB32×65mmの吊材を1,600mmピッチで取り付け、そこにテラコッタルーバーを懸垂する吊り構造とした。テラコッタルーバーは内部からの視点で、ルーバーが常時陰にならない角度と同時に光を制御する角度、外からの視線で遮蔽度が高い角度をモックアップで検証し、約45度傾斜させて取り付けることとした。取り付けピッチは、建物間近からの視線の仰角に合わせ、下から上へ向けて225.4mmから255.4mmへ段階的に広げて取り付けた。

設計初期の段階では衣料品を扱う企業として柔らかな印象を与える外装を模索

していたが、やはり、店舗が今まで与えてきたイメージを継承した本店、本社をつくるのが企業イメージの統一性を図れると考え、レンガベースのソリッドなデザインとなった。しかしながら、夕刻になると透かし積みにしたレンガと、テラコッタルーバーの隙間から照明の明かりが漏れ出してきて、表情が一変する。レンガやテラコッタの重量感は消失し、馬積みのレンガやルーバーのシルエットのみが浮かび上がってくる。その表情が縦横に編まれた織物のように見えた時、初期の考えが図らずも実現されていたのだと発見した。同時に、古典的な素材にデザイン的な可能性を発見したことも大きな収穫であった。*

あんどう・すなお—久米設計建築設計部 設計部長/1958年生まれ。1982年、早稲田大学理工学部建築学科卒業。同年、久米設計入社。
主な作品：ニッセイ総合研修所（1989）、長崎原爆資料館（1996）、四日市ドーム（1997）、東京外国語大学（2001）、北九州市立自然史・歴史博物館 いのちのたび博物館（2001）、大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）（2005）、大分県運転免許センター（2006）など。



南西面外観

■建築概要

名称：ライトオンつくばビル
所在地：茨城県つくば市吾妻1-11-1
設計：久米設計
施工：竹中工務店
敷地面積：4,598.86㎡
建築面積：3,440.02㎡
延床面積：13,409.16㎡
規模：地下2階、地上6階、塔屋1階
構造：S造、一部RC造
工期：2005.4~2006.8
●INAX使用商品 ●REG-424/特注色、TL-150×60-1548/特注色

